

## ■ 阪神高速グループの求める技術 重点項目

【タイトル】：津波浸水区域での路下点検方法
【背景・課題】： 地震発生時、路下からも構造物点検を実施するが、津波浸水区域での点検手法が確立できていない。、迅速な応急復旧を実施するために、高速道路上等の津波影響を受けない箇所から、桁・橋脚（梁上含む）を点検する手法が求められる。
【ゴール・目標】： 津波浸水時に路下から接近できない場合でも、新たな点検手法を用いることで同等の点検が可能となる。
【実現イメージ】： ・災害発生時のお客さまの安全確保とライフライン機能維持 ・関西の都市構造の強靱化
【取組み】： ・地震・津波等の災害時でも地域のライフラインとして機能することを目指した防災・減災対策 ・異常気象発生時には通行規制を適切に実施し、通行可能路線では事故防止のために必要な情報をより豊富にかつ確実に提供
【対象設備－対象構造物】： ・橋梁 － コンクリート構造物 ・橋梁 － 鋼構造物
【業務分野】： ・防災・減災

(2022年9月時点)